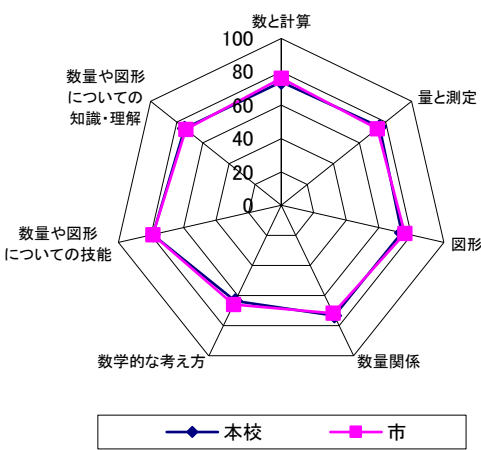


宇都宮市立桜小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	74.0	76.2	72.9
	量と測定	75.3	73.6	70.6
	図形	74.1	76.0	72.1
	数量関係	73.3	71.8	66.9
観点別	数学的な考え方	63.5	65.9	58.0
	数量や図形についての技能	78.8	78.9	76.2
	数量や図形についての知識・理解	74.0	73.1	70.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○整数を偶数と奇数に類別する設問の正答率は92.7%で、市の平均を大きく上回った。 ●小数の除法を図や式で表す理解を問う設問では、正答率が7割を下回っており低くなっている。	・練習問題などに繰り返し取り組ませて学力を付けさせたい。 ・文章問題が表す式や図の意味が理解しやすいような教具や教材の活用を増やしていきたい。
量と測定	○ほとんどの設問について、正答率が市の平均を上回っているか同程度であった。	・面積や体積の求め方については、よく解けるようになってきた。単位量を求める場面において、復習やまとめの問題などで学び合いの場面を増やしながら理解の定着を図りたい。
図形	○合同な三角形の作図についての設問の正答率が96.4%と高く、市の平均も上回っている。 ●対称な図形の設問で正答率が60%とやや低い問題があった。	・引き続き作図や求積方法などの理解を高めていきたい。 ・対称な図形について、線対称と点対称との違いを確認しながら、まとめの問題で取り組ませる。
数量関係	○比例の関係を式に表す問題の正答率が90.9%と高かった。 ●比を使って量を求める問題の正答率は、市の平均は上回っているが、38.2%で低かった。	・比を読み取ったり比較量を求めたりする問題について、まとめの問題で定着を図りたい。